



# 放射線科専門医に聞く

富山ろうさい病院 放射線科部長 あらい 荒井 かずのり 和徳



H28年11月7日から新病院稼働しています

## 放射線科診断専門医って何する人？



私が放射線科医になった昭和58年（1983年）頃は、ようやくX線CTが大学病院などに普及し終わった時期であり、放射線科診断医の認知度は低かったように思います。大学以外の一般病院に行くと、放射線科の医者っていうのは何学部を出たられるのか、と聞かれたこともありました。当時は一般の人には放射線科といえ、レントゲンで胸や骨の写真、胃透視でバリウムを飲むところくらいのイメージしかなかったように思いますし、患者の診察をしない医者が存在することは想像できなかったでしょう。

CTに続いてMRIが普及しました。MRIとは巨大な磁石の中に人体を入れて電磁波を照射後、水素原子からの電気信号を解析して画像化するものです。CTもMRIも人体内部を鮮明に断面図として映し出してくれます。CTは頭頸部・胸部・腹部・骨盤部の広い領域で癌や炎症などの病変を評価できる万能選手であり、MRIは脳卒中や脊椎・関節の病気に高い能力を発揮します。画像診断装置は日進月歩で普及・進歩して、現在では画像診断は病院での診療になくはならないものとなってきました。このような時代にあって通常の医師の修練だけでは画像診断を行うことが困難となり、画像診断を専門に行う修練を積んだ医師の必要性が広く認知され需要が高まってきたものです。

当院でも最新のCTとMRI装置が導入されています。我々放射線診断専門医は正確な画像診断を行うことが最大の使命ですが、病院全体の画像診断の質の確保のためにほぼすべてのCT・MRI検査の診断レポートを作成し、各診療科の医師とダブルチェックがなされるようにしています。また、疑われる疾患の診断のために最も適した画像診断法の指示や助言をすることも行っています。診断専門医として画像診断を通して市民・地域の皆様に少しでも貢献できればと思っていますが、最近の人工知能（AI）の急激な進歩をみていると、近い将来は画像診断をするロボットが病院にいる時代がくるかもしれません。

<健康診断の結果、「精密検査必要」と言われた方の受診予約（電話等）を受けています。>  
待ち時間が少なく、スムーズに受診を受けられます。特にお仕事をされている方、多忙な方はどうぞ地域医療連携室（下記）にご連絡ください。

直通 0765-22-1354（平日9：00～16：00）

富山ろうさい病院では、緊急の方を優先して診察します。救急車で搬送された方は、医師、看護師が救急室で待機し、入院まで速やかに対応できるように準備しています。症状を自覚した時、我慢をせず、早期に対応することで療養期間を短くすることもあります。速やかな受診をお勧めします。

電話 0765-22-1280（病院代表）

発行：独立行政法人労働者健康安全機構富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページにも掲載しています。

【連絡先】 0765 (22) 1354（地域医療連携室） Fax：0120-935-631